

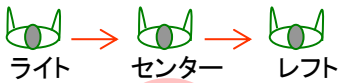
第3章 基本知識

1 ローテーション

(1) ローテーション

6人制バレーボールでは、各セット開始時、各選手のスタートポジションを決定し、サーブが打たれた瞬間に、各自のポジションに移動しなくてはなりません。相手チームからサーブ権が移動してきたときに、時計回りに一つポジションが移動します。

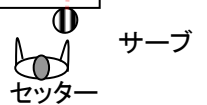
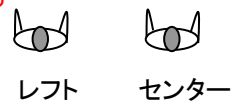
サーブ権が自チーム移動したら
一つずつポジションを移動する



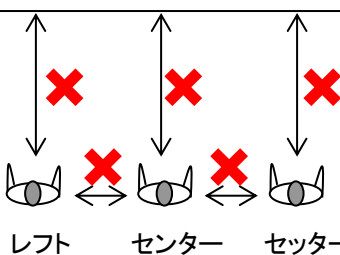
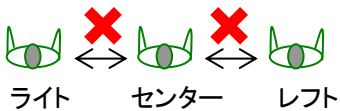
サーブが打たれた瞬間に
ポジションチェンジをする



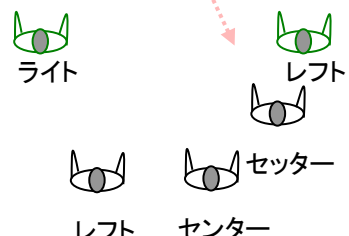
サーブが打たれる前に
ポジションをチェンジす
ると、反則(アウトオブポ
ジション)となり、相手に
1点が入ることになる



サーブを打つ前にそれぞれ前
後のチェンジ、左右のチェンジ
をすることはできない



左の図の前後関係を保って、ポ
ジショニングをする



第3章 基本知識

1 ローテーション

(2) S1～S6

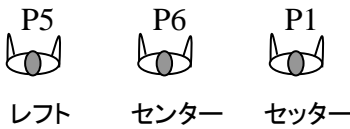
ポジション位置をサーブを打つ順番で番号を付け、それぞれPosition1～Position6とする。
セットのスタートでセッターがどのポジションに配置されたかによって、左下図の場合は、Position1からセッターがスタートするので、S1 ローテーションと呼ばれる。

セッターをP1からスタートさせるので、セットのスタートの3ローテは、3枚攻撃とすることができる、このS1ローテーションを採用するチームが最も多い。

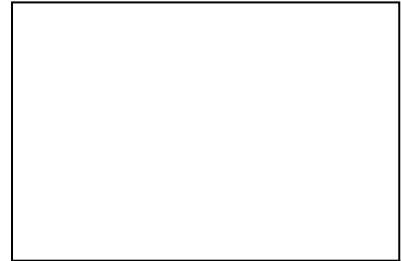
セッターがP1からスタートするので
S1 ローテーション



P4 P3 P2



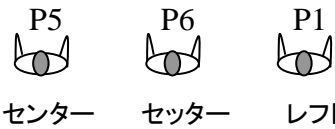
レフト センター セッター



セッターがP6からスタートするので
S6 ローテーション



P4 P3 P2



センター セッター レフト

セッターがP2からスタートするので
S2 ローテーション



P4 P3 P2



ライト レフト センター

P4のレフトアタッカーが攻撃力に優れている場合に、このS3ローテーションを採用するチームが多い(ただし、セッターが前衛なので、前衛アタッカーは2枚攻撃となる)

セッターがP3からスタートするので
S3 ローテーション



P4 P3 P2



センター ライト レフト

第3章 基本知識

1 ローテーション

(3) フロントオーダーとバックオーダー

ローテーションにおいて、前衛で左からレフト・センター・ライトという並びになるオーダーをフロントオーダーと言い、後衛で左からレフト・センター・ライトという並びになるオーダーをバックオーダーと言う。現代バレーでは、バックオーダーを敷くチームが大半である。ローテーションを始めたばかりの中学生のチームでは、フロントオーダーを敷くチームもある。

バックオーダーは、前衛でレフトの選手の左側にライトの選手がいるローテーションが1ローテのみとなり、ポジションチェンジによる不利がフロントオーダーより少ない。

バックオーダー



ライト



センター



レフト

P4

P3

P2



レフト



センター



セッター

フロントオーダーは、前衛でレフトの選手の左側にライトの選手がいるローテーションが2ローテあり、ポジションチェンジによる不利がフロントオーダーより多くなる。

フロントオーダー



レフト



センター



セッター

P4

P3

P2



ライト



センター



レフト